

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成 27 年度第 2 回松市図書館協議会
開催日時	平成 28 年 2 月 22 日 (月) 15 時 00 分～16 時 20 分
開催場所	サンクリスタル高松 3 階 第 1 集会室
議 題	(1) 平成 28 年度予算 (案) 及び事業計画 (案) について (2) 今後の図書館の総合的なあり方について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針に基づく
出席委員	池西委員、岡田委員、富永委員、佃委員、西村委員、北條委員、松浦委員、片山委員、真鍋委員、水谷委員、久保委員、中本委員
傍 聴 者	3 人
担当課連絡先	中央図書館 861-4501

審議経過および審議結果

1 開会

2 議事

○議題 1 平成 28 年度予算 (案) 及び事業計画 (案) について

・平成 28 年度予算・事業計画 (案) について説明を行った。

質問 国分寺図書館の新規事業の具体的な内容は。

回答 ボランティア団体と協力し保育所の子ども対象に図書館にて月一回お話ををする。

質問 分室の活性化について具体的な案はあるか。

回答 来年度の予定としては 5 館に約 100 冊程度ずつ新刊を購入し、利用状況をふまえて今後拡大を検討していく。

質問 本のソムリエ派遣事業の具体的な内容は。

回答 主に地域の団体から依頼されている。対象は子どもからお年寄りまでで所要時間は概ね 1 時間程度。コミュニティセンター活動の一環としての取組も可能である。

質問 ボランティアに関する講座の具体的な内容は。

回答 図書館ボランティアには、読み聞かせボランティア、ブックスタートボランティア、障がい者対応ボランティアがいるが、それぞれに対応した講座を設けている。

質問 講演会の講師は一般人からの希望も受けてもらえるか。

回答 各ボランティア団体と協議の上、最終的に図書館で決めているので、推薦したい方の希望を前もって出していただければ、考慮する。

提案 来年度は瀬戸芸もある年なので、瀬戸内海に関する本の展示等を瓦町サテライト等で積極的に展示すれば、内外の方に図書館をアピールできるのではないかと。子どもが地域の方々と触れる時間が増えることで、地域の魅力を子どもの頃から刷り込むことになるので、地方創生という流れの中で高松型の図書館のあり方を考えてもらいたい。

○議題 2 今後の図書館の総合的なあり方について

・今後の図書館の総合的なあり方について説明を行った。

意見 IC タグについては、導入するメリットと、費用及び導入後の休館等デメリットを比較せざるを得ない。電子図書については、個人でできることは図書館がやる必要はなく、図書館でないとできないこと、例えば障がい者の方に関わるサービスにおいて可能性があるのではないかと。総合計画については、既存の計画の中でどういう形で決めていけばいいのかを考えてはどうか。鞆の持ち込みについてはロッカーに預ける市のやり方も一つの方法ではないかと。

○議題 3 その他

意見 コミュニティセンターでの本の貸借ができることをもっとアピールしてほしい。

意見 利用者の意見を反映し、もっと情報発信もして特徴ある図書館を作っていくしてほしい。知的なものを求めている高齢者にも応えてほしい。

意見 瓦町フラッグの利用者があまりにも少ないように見えるので、他の課との連携を取りながら、もっと集客できるようなことを考えてほしい。